

2020 年度  
事業計画および収支予算

2020年4月1日から  
2021年3月31日まで

一般財団法人  
九電みらい財団

2020年度は、これまでの実施状況や評価等を踏まえ、「環境活動（環境保全活動と環境教育活動）」、「次世代育成支援活動」について、活動の着実な実施と充実を図る。

## I 環境活動

### 1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯においては、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
- ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物の保護のため、環境省や自治体、地元団体等とともに、湿原の野焼きや希少植物植生保護等の活動を着実に実施
- ・ 活用面では、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、植生保護活動の範囲をやまなみハイウェイから眺望できる北側斜面に拡大

#### (1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施時期や活動参加者等を決定（7月、翌1月）
- リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないように、「野焼きリーダー養成研修」受講者のOJTを通じて後継者を育成

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8月	各 130 名 程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9月	
本焼き	防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く	翌3月	

#### (2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7月	80名程度

### (3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

エリア	内 容	時 期	参加者
南側斜面	かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等除去するとともに、老朽化している登山道を整備	4, 11 月	各 100 名程度
北側斜面	かん木等を除去 ※急峻であるため委託で実施	11 月 ～3 月	(委託)

## 2 くじゅう九電の森（大分県由布市）での環境教育活動

- 次世代の環境保全意識の啓発のため、九州電力の社有林「くじゅう九電の森」において、子どもや保護者を対象に、「講話」と「体験」から成る環境教育を実施
- ・ 学校向けは、1回あたりの参加人数が可能な限り最大（上限 90 名程度）となるよう複数校の同時開催により実施するほか、将来の次世代教育を担う教員志望の大学生向けの取組みの拡大などにより 23 回実施

#### 【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林の CO<sub>2</sub> 抑制効果・生物多様性保全機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察、間伐の体験、間伐材を使った工作など

実施時期	4 月～11 月（23 回）
対 象	福岡県、佐賀県および大分県内の小中学生（4 年生以上） 福岡県および大分県内の大学生
参 加 者	1,700 名程度（1 回あたり平均 75 名程度）
参 加 費	無 料
募集方法	教育委員会や校長会などを通じ、各学校に案内（2019 年 11 月～）

- ・ 親子向けは、教育的効果を維持しつつ参加人数を拡大するため、参加者が体験プログラムを自由に選択できる複数の「ブース」を新たに設ける（NPO等による出展）

また、運営を効率化する観点から実施回数を1回とする

**【実施内容】**

- ① 講話(必須)： 地球温暖化の現状や森林のCO<sub>2</sub>抑制効果・生物多様性保全機能などを説明
- ② 体験(必須)： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察又は間伐の体験
- ③ 体験(選択)： 間伐材を使った工作、木登り体験など

実施時期	8月（1回） ※第5回「山の日」記念全国大会関連イベントとしても位置付け
対 象	九州全域の小学生と保護者
参 加 者	500名程度
参 加 費	500円／人（交通費は参加者負担）
募集方法	大型商業施設など親子が訪れやすい場所へのチラシ配布のほか、九州電力の生活情報誌「みらいと」や財団のホームページ、Facebookなど様々な電子媒体を活用し告知・募集

## II 次世代育成支援活動

- 非営利団体が取り組む次世代育成の活動を対象に、公募型の助成を実施

### 1 2020年度 の取組み

- 応募があった 102 団体のうち、選考委員会での審議を経て選考した 23 団体に助成（総額約 15 百万円）を行い、九州電力各支社にて贈呈式を実施（4～5月）
- また、助成団体を広報面でも支援するため、活動の内容を財団 Facebook 等で紹介（通年）
- なお、奨励金（「みらい応援キャンペーン」）については、助成団体・当財団の活動を認知してもらうこと等を目的に 2017 年度から行ってきたが、情報発信ツールの充実などにより、当初の目的は概ね達成できたため、2019 年度をもって終了

### 2 2021 年度 の助成

- 理事会において募集内容を決定（10月）
- 財団ホームページ等を通じて募集を実施（11～12月）
- 選考委員会を開催し、助成団体を決定（翌3月）

## III 活動の情報発信

- 財団活動の認知度向上を目的として、ホームページや Facebook、Instagram のほか、生活情報誌「みらいと」などを通じて活動の告知や活動状況等を発信するほか、2020 年度は以下の施策を実施
  - ・ Instagram を活用したフォトコンテストを 3 回実施。入選作品等をパネル化し、社内外のイベントで展示するほか、カレンダー等に活用（通年）
  - ・ 第 5 回「山の日」記念全国大会にて、パネル展示等を通じて活動を紹介（8月）

以上

### 〔参考〕2020 年度活動スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
環境活動	環境保全	ミヤマキリシマ植生保護★			希少植物保護★	坊ガツル輪地切り★	坊ガツル輪地焼き★			ミヤマキリシマ植生保護★			坊ガツル本焼き★	
	環境教育		学校向け（全23回）								2021年度参加申込受付			
次世代育成支援活動			助成先団体の活動取材											助成先決定★
		助成先贈呈式				親子向け			2021年度助成先募集		2021年度助成先選考			
情報発信		Instagram フォトコンテスト				「山の日」記念全国大会★			Instagram フォトコンテスト		Instagram フォトコンテスト			

## 2020 年度収支予算

- ・ 収益については、九州電力株式会社ほかから事業費用 5 1 百万円について寄附を受ける。
- ・ 費用については、環境活動約 2 5 百万円、次世代育成支援活動約 1 6 百万円、管理費約 1 0 百万円の計 5 1 百万円とする。

	当年度 (A)	前年度 (B)	差 (A)-(B)	主な差異理由
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取寄付金	51,000,000	51,000,000	0	
受取寄付金	51,000,000	6,000,000	45,000,000	
受取寄付金振替額	0	45,000,000	-45,000,000	
経常収益計	51,000,000	51,000,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	40,457,000	39,180,000	1,277,000	
報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
旅費交通費	1,404,000	1,708,000	-304,000	(次世代)助成団体取材数の減
通信運搬費	6,162,000	5,462,000	700,000	(環境教育)受入校の増によるバス費用増
消耗品費	469,000	1,181,000	-712,000	(環境教育)親子向け開催形態変更に伴う材料費の減
印刷製本費	503,000	700,000	-197,000	(環境教育)親子向け回数減に伴うチラシ費用減
賃借料	0	0	0	
会議費	60,000	60,000	0	
諸謝金	758,000	543,000	215,000	(環境教育)親子向け出店者への謝礼増
租税公課	10,000	10,000	0	
支払助成金	15,000,000	15,300,000	-300,000	(次世代)助成団体奨励金取り止めに伴う減
支払保険料	505,000	500,000	5,000	
委託費	14,267,000	11,370,000	2,897,000	(環境保全)ミヤマキリシマ植生保護範囲の拡大に伴う増
普及宣伝費	470,000	1,045,000	-575,000	(次世代)助成団体奨励金広告取り止めに伴う減
支払手数料	92,000	128,000	-36,000	
制作費	161,000	160,000	1,000	
リース料	195,000	0	195,000	(環境教育)親子向け資機材費用の増
雑費	401,000	1,013,000	-612,000	(環境保全)ボランティア弁当代等の減
管理費	10,543,000	11,820,000	-1,277,000	
報酬	322,000	322,000	0	
給料手当	2,880,000	2,660,000	220,000	出向者給与の増
法定福利費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	288,200	374,000	-85,800	
通信運搬費	288,000	288,000	0	
消耗品費	300,000	300,000	0	
印刷製本費	560,000	560,000	0	
賃借料	330,000	324,000	6,000	
会議費	15,000	15,000	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	71,000	71,000	0	
支払助成金	0	0	0	
普及保険料	0	0	0	
委託費	2,808,000	3,930,000	-1,122,000	派遣社員委託費の減
普及宣伝費	1,464,000	1,759,200	-295,200	instagramフォトコンテスト費用の減
支払手数料	48,000	48,000	0	
制作費	100,000	100,000	0	
リース料	679,200	679,200	0	
雑費	189,600	189,600	0	
経常費用計	51,000,000	51,000,000	0	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	6,477,809	3,170,528	3,307,281	
一般正味財産期末残高	6,477,809	3,170,528	3,307,281	
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	45,000,000	-45,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	-45,000,000	45,000,000	
指定正味財産期首残高	50,000,000	95,000,000	-45,000,000	
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0	
III. 正味財産期末残高	56,477,809	53,170,528	3,307,281	

以上